

南海トラフ地震に備えて 今、準備すること 知っておくべきこと

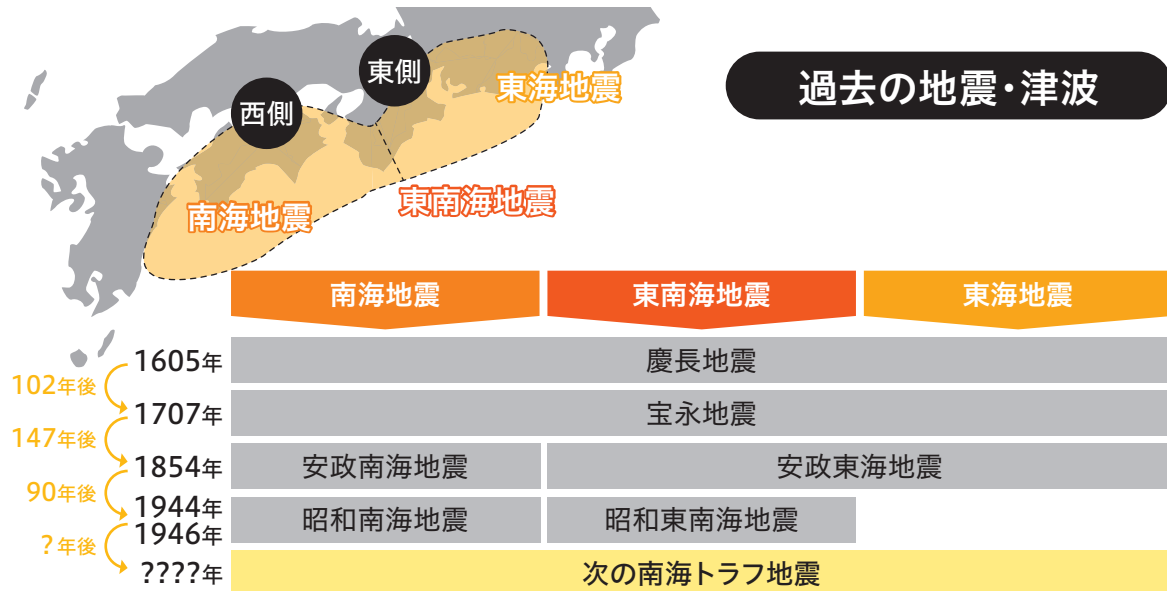
いつ発生してもおかしくないといわれる南海トラフ地震。
その日が訪れたときのための、準備やシミュレーションはできていますか？
9月1日は防災の日。日頃から地震への備えを実施していきましょう。

問 この記事については秘書広報課(☎24-1492 FAX 24-1119)

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として過去に大きな被害をもたらしてきた大規模地震です。国の長期評価によると、マグニチュード8〜9クラスの地震が今後30年以内に発生する確率は80%程度とされています。

これまで約100〜150年の周期で大規模な地震が発生しており、1707年の宝永地震のように駿河湾から四国沖の広い領域で同時に地震が発生したり、1944年の昭和東南海地震・1946年の昭和南海地震のようにマグニチュード8クラスの大規模地震が隣接する領域で時間差をおいて発生したりするなど、東側・西側の両領域がほぼ同時もしくは時間差をもって被害にあっています。今後も同様の事象が発生する可能性があるため、南海トラフ沿いで地震が発生した場合には注意が必要です。そのため、国では後発地震に備えるため、2019年5月31日から「南海トラフ地震臨時情報」の運用を開始しています。

桑名市は想定震度6強と強い揺れに襲われると想定されており、津波や液状化のリスクが高く、避難計画や防災対策の強化が求められています。津波からすぐに避難する意識を高め、適切な情報伝達・収集による速やかな避難が実現した場合、大きく被害軽減が期待できるとされています。一人一人が適切で主体的に避難行動がとれるよう、今できる備えをしていきましょう。



中央防災会議資料(平成13年6月28日)に加筆

- 02 キラリ★くわな人
- 03 特集 南海トラフ地震地震に備えて
今、準備すること知っておくべきこと
- 08 桑名ほんぱく開催します
- 10 国勢調査のお知らせ
- 11 動物愛護について
- 12 認知症への備え、考えてみませんか？
- 14 証明書コンビニ交付サービスの操作方法を紹介します
- 15 こころとカラダを大切に 女性が自分らしく輝くまち
長島八幡神社獅子舞
- 16 子育て広場、図書館・六華苑・博物館
- 18 メディカルニュース、防災教室

- 19 人気の給食レシピ、みんなの掲示板
- 20 EVENT ALBUM(イベントアルバム)
- 22 くわなINFO
- 30 無料相談
- 31 子どもの夢と未来を創る!取りくみレポート
市長まちなか探索
- 32 HAPPY BIRTHDAY
桑名のイトコ教えてください。

今月の表紙

多度青葉小学校4年生の防災教室で、消火訓練を行っている写真です。市内の各小学校では定期的に学年ごとに防災に関する授業を実施しています。



桑名市出身の藤枝さんは、映像やイベントの空間美術を手がけるプロダクションデザイナーとして活動しています。ミュージックビデオやCM、ドラマなど多様な映像作品から、店舗や展覧会、イベント空間に至るまで、さまざまな「世界観」をデザインし、空間として形にする仕事です。

日向坂46、Kis-My-Ft2、米津玄師、安室奈美恵など国内外の有名アーティストのMVや、メルカリ、SUBARU、YmobileなどのCM、美術館でのインスタレーション、ブランドイベントなども手掛けています。藤枝さんの仕事の核は「想像を具現化し、創造すること」と教えてくれました。



プロダクションデザイナー
さとみ
藤枝 智美 さん

きっかけは、桑名高校在学中に映画や舞台などの「世界観」をつくることに魅了されたこと。「美術監督」という職業を知り、大阪芸術大学で映像を学んだそうです。桑名での思い出を尋ねると「幼少期から参加してきた石取祭は、私にとって特別な思い出です。太鼓と鉦の音が聞こえると『夏が来た』と感じ、桑名の歴史や文化が私の『世界観』に大きな影響を与えています。夏は必ず桑名に戻り、太鼓を叩くことが私の恒例行事です」と笑顔で話してくれました。

今後は、見る人の心に残るような空間づくりを続け、アートと空間を融合させた新たな表現をめざして活動を続け、また、地元桑名での作品づくりに挑戦していきたいと話してくれました。



藤枝さんがデザインした空間
『稲葉浩志作品展 シアン』

キラリ★くわな人

02 南海トラフ地震臨時情報が発表されたら…

地震の備えを再確認して
すぐに避難するための準備を

南海トラフ沿いで、地震発生の可能性が高まっていると評価された場合に発表される「南海トラフ地震臨時情報」。想定震源域内で異常な現象を観測すると調査が開始され、臨時情報「調査中」が発表されます。調査の結果、防災対応をとる必要がある場合は「巨大地震警戒」か「巨大地震注意」かのどちらか、対応の必要がない場合は「調査終了」のキーワードを付した臨時情報が発表されます。「調査中」が発表された場合は防災対応の準備を開始し、今後の情報に注意しましょう。最短2時間後に調査結果が発表され、キーワードにに応じた防災対応が呼びかけられます。臨時情報と防災対応の内容、自身の状況に応じて迅速に適切な行動をとりましょう。

南海トラフ地震臨時情報が発表されたら取る行動

臨時情報発表から	～1週間	～2週間	2週間～
南海トラフ地震臨時情報 巨大地震警戒	・市内一部地域には事前の避難が必要	・日頃からの地震への備えを再確認(必要に応じて自主的に避難を実施)	・地震に注意しながら普段通りの生活を行う
南海トラフ地震臨時情報 巨大地震注意	・日頃からの地震への備えを再確認(必要に応じて自主的に避難を実施)	・大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意する	

※巨大地震警戒が発表された場合、後発地震に備え1週間公立小中学校は臨時休校とし、津波浸水想定区域外の小中学校などの公共施設は指定避難所として開設します。



すぐに避難するための準備を



03 南海トラフ地震が実際に起きたら…

今いる場所、状況に応じて
命を守る行動を

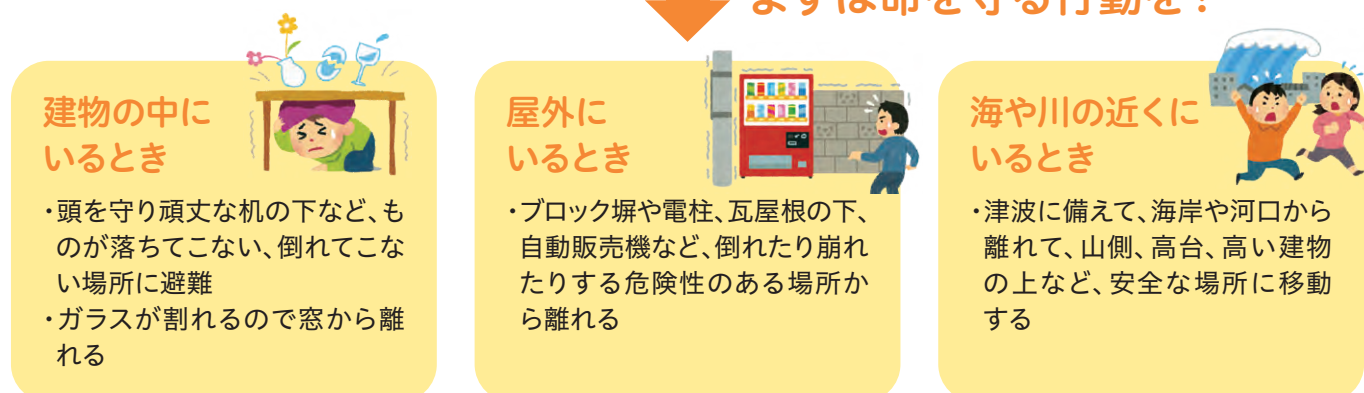
地震はいつ発生するか分からないため、必ずしも自宅にいたときに地震災害にあうわけではありません。自宅ではない会社や学校などの屋内、通勤・通学中の屋外、レジャーで訪れる海沿いや川沿い、山や森、街中などで遭遇する可能性も。その行動を誤れば命に関わることもなり兼ねないため、場所ごとの命を守る行動を把握しておくことが重要です。

また、津波情報の発表の有無や内容、自宅の被害状況に応じた対応も必要となつてきます。下記のフローチャートを参考に、各自の避難対応を確認しておきましょう。

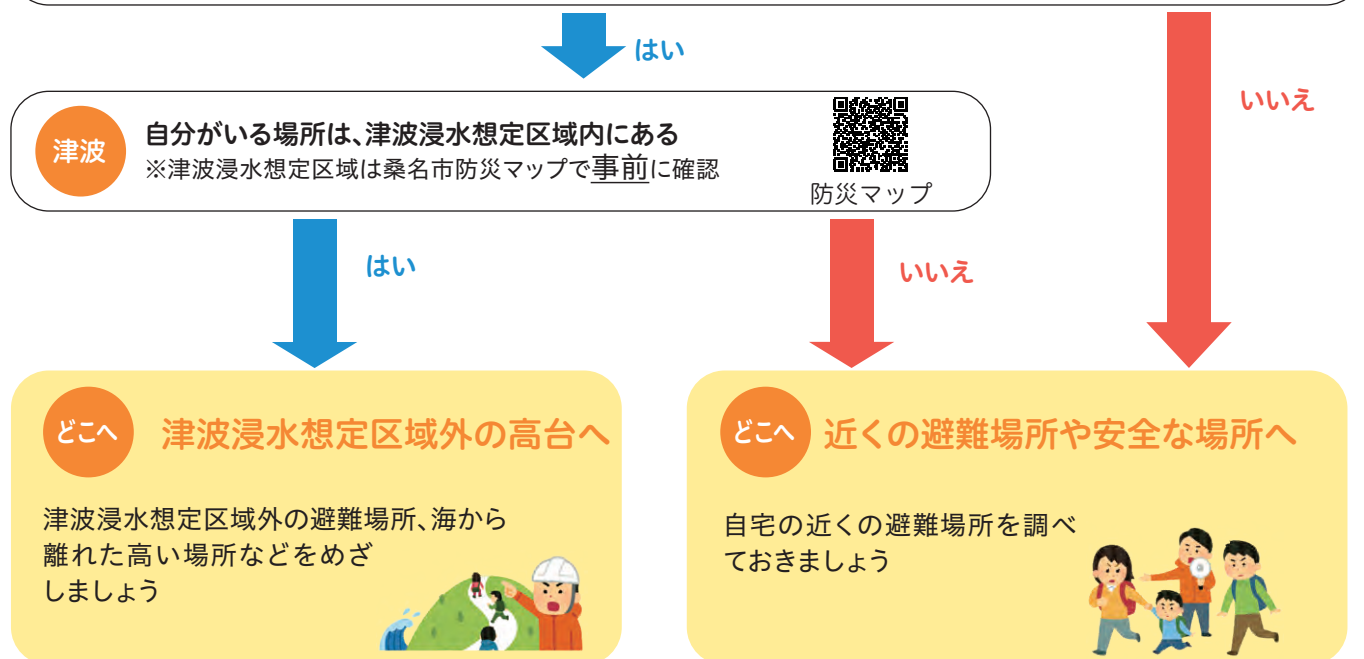
避難対応フローチャート

地震発生!! 想定される桑名市内の震度 最大震度6強

まずは命を守る行動を!



伊勢・三河湾に津波警報・大津波警報が発表された



安全な場所に避難したあと自宅などが被害を受け、住み続けられなくなってしまった場合は、親戚・友人宅などへの縁故避難や市が開設する避難所へ避難しましょう。

災害情報・防災情報をチェック

テレビ、ラジオ、インターネット、防災アプリなど、さまざまな情報源を確保して、気象庁や自治体の情報を常に確認しましょう。

防災行政無線

災害時の緊急情報や避難情報、全国瞬時警報システム(Jアラート)からの情報などを迅速に市民へ伝えるための情報伝達手段の一つです。屋外拡声子局(屋外スピーカー)により、サイレンや音声で情報をお知らせします。

※放送した内容は、避難情報などの緊急放送「0120-41-2300」(通話料無料)に電話して確認することができます。

市災害時緊急メール



あらかじめ登録したメールアドレスに、桑名市から避難情報や気象情報などを配信するサービス。

市LINE公式アカウント @kuwana 987



避難情報をLINEでも発信しています。

みえ防災ナビ



三重県の公式アプリです。さまざまな防災情報をまとめて確認できます。

他、市ホームページや緊急防災ラジオ、テレビなどからも災害情報・防災情報を取得できます

耳で聴くハザードマップ

三重県では、目が見えない、見えづらい人が平時から災害リスクなどを認識し、早期の避難につなげるため、「耳で聴くハザードマップ」のサービスの利用を開始。音声コード読み上げアプリ「Uni-Voice Blind(ユニボイスブラインド)」を使って①～③の機能を利用することができます。

- ①現在地や検索した場所の災害リスクを音声で確認
 - ②警報や注意報、避難情報を音声で確認
 - ③現在地から最寄りの避難場所までを音声や振動で誘導
- ※災害時に利用される際は、必ず支援者と一緒に利用してください。



県HP

POINT 生活再建への第一歩は、「罹災証明書」

「罹災証明書」は、自然災害によって住家に被害を受けた場合に、その被害状況を公的に証明する重要な書類です。被災者生活再建支援金や災害義援金の支給、被災住宅の応急修理、仮設住宅への入居、税金や保険料の減免など、被災者に対するさまざまな支援を受けるために必要となります。

POINT 災害救助法の適用の有無により利用できる支援が異なる

災害救助法とは、国や地方公共団体が連携して行う救助活動を定めた法律のこと。都道府県知事が市町村ごとの区域を定めて、被害の程度や被災者数などの基準に基づき適用が判断されます。適用の有無により支援が異なるため、災害時には内閣府・市ホームページの被災者支援に関する制度を確認してください。

※その他、電気・ガスなどの公共料金、NHK受信料、携帯電話料金、生命保険料、住宅ローンなど、ご自身の関係する契約先などの窓口やウェブサイトで災害時に利用できる支援の情報を得るようにしましょう。



市HP



内閣府HP

被災すると、生活資金の不安や子どもの養育・就学に対する悩みなど、どうやって生活を取り戻していけば良いのかという不安・悩みに直面することになります。いざという時に直面する悩みに途方に暮れないよう、被災者支援に関する各種制度の知識を備えましょう。

被災者支援に関する各種制度

知っておきたい

04 すぐできることから始めよう！ 日頃からの地震の備え

明日にも起こるかもしれない

大規模地震に備え

防災は日常の延長線上に

大規模地震は突発的に発生し、「南海トラフ地震臨時情報」の発表がないまま大規模地震が発生する可能性もあります。そのため、「南海トラフ地震臨時情報」に関係なく「日頃からの地震への備え」を実施することが重要です。

いざというときに適切な対応がとれるよう、自分が住む地域にはどのような災害リスクがあるのか、最寄りの避難場所はどこか、避難場所までのルート沿いはどのようなになっているかを、避難先までの複数のルートを日頃から確認しておきましょう。自宅の耐震化や家具の固定、家族人数分の食品や衛生用品、生活用品の備蓄、家族の安否の確認方法などについても、今すぐ備えを始めてみましょう。

また、地震発生時の行動を事前にシミュレーションしておくことも大切です。防災はあくまでも日常の延長線上にあることを忘れないようにしましょう。

地震への備えチェックリスト

□安全な避難場所・避難経路の確認



避難場所や避難経路を確認。実際に歩いてみるなど危険箇所を把握し、安全なルートを確認しておきましょう。

□水や食料の備蓄



非常用持出袋とは別に、最低3日分、できれば1週間分の水や食料を家族の人数分確保。非常用トイレや衛生用品も準備しましょう。

□非常用持出袋の準備



非常食、水、常備薬、懐中電灯などを収納した持出袋を就寝時でもすぐに持ち出せる場所に準備しましょう。

□ラジオの準備



停電時やインターネットが使用できない場合に備えて、乾電池で使えるラジオを備えましょう。防災ラジオ



□家具の固定およびガラス飛散防止策



大型家具は転倒防止器具で固定。窓ガラスには飛散防止フィルムを貼付。寝具は家具が倒れても安全な場所に配置しましょう。

□家族との連絡手段・集合場所を決めておく



災害用伝言ダイヤル(171)や災害用伝言板(web171)の使い方を確認。安否確認の方法を話し合っておきましょう。

□ペット避難



災害時にペットの命を守ることができるのは飼い主だけです。事前に備えをしておきましょう。ペット避難施設



□縁故避難先の確保



自宅での安全確保が難しい場合に備え、あらかじめ親戚や知人に相談し、避難先の確保をしておきましょう。

□感震ブレーカーを設置



地震の揺れを感知して電気を自動的に遮断する装置。地震による電気火災を防ぐ効果が期待できます。